

上尾市学校施設更新計画基本計画地域説明会

日 時	令和3年7月11日(日) 13:30~16:00
場 所	原市公民館 集会室兼体育室
参加人数	24人
意見・要望等	
参 加 者	<p>【上尾市学校施設更新計画基本計画について説明】</p> <p>上尾市が考える適正規模があるが、これはどこから出てきた数値なのか。文部科学省が言っているのか。上尾市が考える適正規模は、大きすぎるのではないかと思うのだが如何か。</p> <p>児童が通学で背負っているランドセルがどのくらいの重さになるか把握しているか。瓦葺の北側の端や、東大宮に近いところから、原市南小学校に通う場合に何キロメートルになるか、その距離を重いランドセルのほかに、体操着や書道の道具、絵の具などの道具を持って、大人の足で30分もかかるような距離を歩くことになるのは、教育委員会としてどう思っているのか。本当に子供のことを考えたら無理なんじゃないかと考えられることであると思うが如何か。</p> <p>平成24年に策定し、昨年改定した上尾市特別教育基本方針があるかと思うが、その中で上尾市全小学校に特別支援学級を開設したが、中学校においても全てに設置していくと、特別支援教室は、もっともっと充実させ、特別支援学級ばかりでなく、通級学級も充実させていくというような方針もある。特別支援を必要とする子供たちが増えており、県立の特別支援学校では、教室が足りなくて困っている。上尾市は、特別支援を必要としている子供たちの数など、実体を把握しているのか。その子供たちは、統合によってどうなるのか、そこまで考えているのか。</p> <p>原市南小学校、瓦葺小学校、尾山台小学校に20名近くの特別支援学級で授業を受けている子供がいると思うが、その子供たちが、統一されることによって、大規模になってしまう。本当に一人一人のニーズに沿った特別支援教育をするのに逆行しているのではないか。</p>
教育総務課長	1点目の適正規模の根拠については、法令の学校教育法施行規則第41条及び第79条の法律の規定や小中学校の児童保護者教員

	<p>を対象としたアンケートの意見を踏まえて、上尾市として、適正規模の基準を 12～18 学級と考えたところである。</p> <p>2 点目の通学距離が長くなることについては、アンケートの中では、保護者が求める距離としては、1.5 k m～2.0 k mまでが良いとされていた。今回の再編案は、財政上のシミュレーションによるものであり、これがすべてだとは考えていない。通学距離や通学の安全も含めて、地域の皆様の実情や様々なご意見があると思われる。例えば、瓦葺小については、宇都宮線の通っている踏み切を渡るのかということへの問題など、いろいろなご意見があるかと思う。</p> <p>今回ご意見をいただき、今後の予定では、各小中学校 33 校の保護者を対象に通知を配布するとともに、説明会を開催することも考えている。平行して、自治会連合会、各地区自治会連合会でご説明し、地域からのご意見を頂きたいと考えている。いろいろなご意見を取り入れながら、教育委員会や市の中でいろいろと再編案について検討し、もう一度、地域の説明会などを開催して、公表していきたいと考えている。</p> <p>本日の説明の中で、新しい学校づくり検討協議会について御説明したが、エリアの中で検討していくという話だが、その検討協議会に入るに際しても、地域への説明が必要不可欠だという話を頂いている。当初は、この 7 月の説明会の後に 9 月を目途に各エリアでの協議を開始する予定だったが、周知が必要であるというご意見をいただいたため、検討協議会の設置は、先延ばしをすることとし、まずは、学校への説明、地域への説明をさせて頂くということとなった。そういった意味で、様々なご意見を頂きながら、再調整をさせて頂きたいと考えている。</p> <p>特別支援教育の関係については、仮に統合になった場合でも、すべての学校に設置する想定でいる。</p>
<p>学校教育部長</p>	<p>特別支援教室については、基本方針にもとづき、児童生徒数の推移をすべて把握しながら、また、様々な障害などからの課題も出てきていることから、ニーズに応じた設置に向けて、努めて行くように考えている。通級指導についても、今後も充実できるように検討しているところである。</p>
<p>参 加 者</p>	<p>瓦葺に住んでいる通学区は尾山台小学校の者だが、子供が 3 人</p>

	<p>すでに社会人になっているが、正直びっくりしている。</p> <p>聞くところによると、公共施設を 35%削減ということが先にあって、総務省から話があって、上尾市が手を挙げて、コンサルタントに委託をして計画を立てたと聞いたのだが、本当か。</p> <p>説明やパブコメもあったが、説明会等で意見は聞くけれども、聞いただけで、決めたとおりにやりますというのでは、とんでもないことだと思っている。</p> <p>瓦葺小や尾山台小から歩いてみるとわかるが、通学路はとても狭い、歩道もない。この間の八街市で起きた小学生を巻き込む事故があったが、子供の安全は確保されるのか。通学路にすべて歩道をつけるには、用地の買収等もあり、年月も、お金もかかる。</p> <p>本当に子供の安全安心ということを考えたら、学校の建物だけではなくて、通学がちゃんと安全で安心して送り出せるようにしてほしいという保護者の考えがあるのだが、その辺のところは、きちっと教育委員会として責任を持てる考えがあるのか。</p>
教育総務部長	<p>我々としては、初めにご説明をさせて頂きましたが、人口急増期に整備をした学校については、老朽化し 70%が 40 年以上を経過している状況であること、それから児童生徒数がピーク時の半数程度になっている。そういう状況ふまえて、施設の更新時期に合わせて学校施設の在り方を検討するちょうど良いタイミングであるということで、この計画を策定している。</p> <p>当然、上尾市の公共施設になるため、上尾市個別施設管理基本計画、市全体の公共施設の方針を定めているこの計画の中に位置づけられているため、この計画と整合性を図りながら、進めていくことになる。いずれにしても、子供たちの教育は、継続して安全安心な教育ができるように、施設整備について今後、いろいろな意見交換をさせて頂ければと考えている。</p> <p>この計画が決定しているのか、ということだが、今日の説明会を行ったのみで、終わりとは考えていない。今後も皆さんの意見を伺いながら、改めて地域の方に説明をさせて頂き、学校で保護者などにも説明をさせて頂き、そこでいろいろな意見交換をさせて頂き、進めて行きたいと考えている。</p>
教育総務課長	<p>1 点目のコンサルに委託をしたのかというご質問について、コンサルタントは、平成 30 年、平成 31 年、令和 2 年度の 3 か年に</p>

<p>学校教育部長</p>	<p>わたって、1年ずつの単年度契約で委託をしている。平成30年、31年は、基本方針を作成するにあたって、令和2年度は、基本計画の作成にあたってのコンサルタント業務ということで、各種データの精査や会議開催の支援等の業務を委託している。3か年とも八千代エンジニアリングという会社が落札しているが、それぞれ単年度ごとの指名競争入札にて、7社への指名により、価格が一番安かった会社が落札しており、その会社と契約している。</p> <p>通学路については、通学の安全、児童生徒の安全な登下校は、最も重要と考えている。毎年上尾市では、PTA 連合会に協力を頂き、教職員とともに通学路の安全点検で危険箇所を出していただき、市全体の予算の都合から、すべてのことに応えることはできないが、出来るところから改善するということで、努めているところ。</p> <p>八街市の大変悲惨な交通事故のことを受けて、緊急に点検を要するところを再度、学校に確認し、出来るところから改善するということを進めている。いずれにしても、通学路の安全、安全な登下校については、大変重要な観点であり、そこを大切に考えていくことは、大変重要なことだと考えている。</p>
<p>参加者</p>	<p>このような席は苦手だが、どうしても反対ということをお願いしてきた。要するにお聞きした話では、建て替えするのにお金がないから統合するという風に私には聞こえてしまった。子供には、お金をかけてほしいと思う。令和37年に人口が減るという話だが、そこまで考えなくて良いのではないか。自宅の周りには、アパートや住宅が新しく建っている。私には、減るといった感じがなくて、もっと人口を増やすことを考えたら良いのではないかと思ってしまう。減っていくから統合するのではなく、上尾市にある今の33校は、あってほしい。私は、原市小、原市中を卒業したが、これが小さくなってしまふなんて考えられない。</p> <p>通学が一番心配、今の通学でも心配なのに、さらにひどくなってしまうたら、子供の交通安全、誘拐等の犯罪なども考えると、今の通学でギリギリなのではないかと思う。これ以上に通学距離が長くなってしまうたら、子供の安全は、守れないと思う。バスなどの計画はあるのか。</p> <p>それから、小中学校が避難所になっているが、統合により少なく</p>

	<p>なるのではないか。持続可能な教育環境づくりも、今の 33 校で進められないのか。</p> <p>クラスの人数が、今、35 人学級になるが、もっと減らして、30 人学級とか、25 人学級などになったら、教室が必要になるのではないか。</p>
教育総務部長	<p>通学路等の子供の安全については、引き続き、第一に考えていろいろな方との意見交換をさせて頂きたいと考えている。それから、避難所については、学校施設は、指定避難所という大切な役割があるため、避難所の機能については、損なわれることがないように地域の方の意見を聞きながら、関係部署と検討してまいりたいと考えている。</p>
教育総務課長	<p>3 点目の少人数学級について、国は今年度に法律を改正して、今年度から段階的に 2 年生から 35 人学級への移行を進めて、令和 7 年度には、すべての学年で 35 人学級になるとう状況である。この計画は、あくまでも国の基準で、1 学級の人数を 35 人で計算をしている。クラス編成は、1 学年で 70 人であれば、35 人×2 学級となる。それが、1 学年で 71 人になると、全部で 3 学級となり、2 学級が 24 人、残りの 1 学級は、23 人となる。学校規模が大きくなったとしても、学年の人数により、1 学級の人数は、少なくなる場合もある。あくまでも国の基準に基づいた 35 人の中で計算をしている。</p> <p>我々としては、適正な規模として、1 学年 3 学級程度が良いだろうということで、検討している。</p>
参 加 者	<p>尾山台団地に住む者である。質問は、協議会とあり、構成が学校の校長、自治会長、保護者とある。私は、専門学校生なのだが、私たちの世代が、一番この計画に関係すると考えられる。それなのに私たちの世代がこの構成員に入っていない。可能であれば、近隣の上尾鷹の台高校や中学校の生徒会を含めてほしい。</p> <p>協議会は、この計画を進めることを前提に開催するのか。</p> <p>通学路を距離で話されていたが、大人と子供では、歩く速度が違うことと、集団で登校するので、一番遅い人に合わなければならないので、すごく時間がかかる。時間がかかるとなると、その分、授業の開始時間に影響がでる、もしくは、朝起きる時間が早くな</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>る。そうすると授業への意欲が損なわれる。暑い夏の場合は、通学中に熱中症で倒れる危険性もあるし、通学の疲れで授業中に眠ってしまうかもしれない。今の登校の状況から、さらに長くなり、加えて地球温暖化でさらに暑くなったら、疲れがたまる。本当に授業がちゃんとできるのか。もし、バスにしても、800人なんて人数になると、ものすごい台数が必要になる。そのバスが停車する場所も必要になる。私は、つい去年まで蓮田の特別支援学校に通学していて、バス通学を経験しているのだが、駐車場所での待ち時間の暑さによって疲れてしまった。本当にこのままやっていけるのか聞きたい。</p> <p>検討協議会のメンバーについて、地域での話を伺ったあとに、各エリアの中で新しい学校づくり検討協議会を立ち上げ、そこでまた議論することを想定している。メンバーとしては、校長、自治会長、PTA という形で示させて頂いているが、それは一例と考えている。地域であれば、自治会を通じて依頼をするかもしれないが、自治会長である必要はないと考えている。保護者も PTA を含めた形であれば、良いと考えている。ほかの地区でも頂いた意見では、学校の教員を入れたらどうかという話もある。そういった意見を踏まえながら、これはエリアごとに決めていくことかもしれないので、地区での意見を伺いながら、どのようなメンバーで構成するかということを考えていかなければならない。この他に実際には、未就学児の保護者に入ってもらった方が良いという意見もある。実際に利害を得る方を中心に考えていかなければいけないと考えている。</p> <p>検討協議会では、「内容が決まったものを協議していくのか。」ということだが、検討協議会については、この地域説明会が終わった後に、学校の保護者や地域に説明し、様々な意見を頂けると思われるので、それを集めて、別に案を示していきたいと考えている。そして、再度皆さんに説明しなければいけないと考えている。再編案の他、計画自体の修正も必要であれば行う。</p> <p>通学距離の問題について、距離が長くなれば事故の確率も高くなるかと思う。子供のことを第一に考えて、どのような形の学校が良いのか、原市地区全体で議論や意見を頂きながら、通学距離についても、考えていきたいと思っている。</p>
---------------	--

<p>参 加 者</p>	<p>1 点目、スライドの 28 ページ目に各学校の適正規模かどうかという図があり、原市南、尾山台、瓦葺あたりは、現時点で、尾山台以外は、だいたい適正ということになっている。これから人口減少をしていく見込みがあるというのもあったのだが、計画上で統合予定としている年度では、そこまで減っていない段階なので、統合するには早すぎる気がした。建物の耐用年数が来てしまうので、統合することなのかということを知りたい。</p> <p>2 点目は、今日は計画の概略ということだからか、資料について説明が足りないと思った。数字は結果だけ出ているところが多く、その根拠が示されていない、特に 32 ページの点数化の資料があるが、この数値をあえて出すのであれば、この数値についての説明がもっとある方がよかった。これから話を詰めていく段階になると思うが、その時には、もっと細かな数値などの資料がある方がよい。</p> <p>3 点目は、子供が生まれたばかりなのだが、この計画については、これから利用する人がもっと参加できるようにした方がよい。未就学児の保護者や地域の方は、この統廃合計画について知らない人の方が圧倒的に多いと思う。この周知活動を計画が決まった段階でされているようだと、教育委員会が主導で進めてしまっているのではないかという印象を受けてしまう。今の段階で、急いで周知活動を行って頂きたいと思うのと、各学校での説明会も行うということだが、そこには是非、未就学児の保護者も参加できるようにしてほしい。一番漏れの無い方法で、実施して頂けるとよい。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>1 点目の耐用年数について、原市地区の中で、一番早いのが、2026 年の尾山台小学校の体育館の耐用年数が迎えることとなる。耐用年数の考え方は、先ほど資料でも説明をさせて頂いたが、鉄筋コンクリート造については、60 年としており、カッコ書きの部分で、建物の健全性が確認できた場合は、75 年ということで、長寿命化という言葉が出てきている。尾山台小学校の体育館については、コンクリートの健全性が確認できていない状況なので、今後、建て替えるのか長寿命化できるのか検討が必要となっている。その他、原市中学校や、原市南小学校の校舎も 10 年間のうちに耐用年を迎える棟がある状況となっているが、これらの建物については、長寿命化できることを確認できている棟もある。そ</p>

	<p>のような棟は、長寿命化を図っていくこととなる。基本的な考え方は、長寿命化を図り校舎を長く使用していく考えを持っている。しかしながら、コスト面で一時的に増えてしまう場合があるので、それをいかに平準化し、過度な負担とならないように長寿命化を図るほか、再編を行うことでコストが集中的に掛かる部分を、掛からないように、ということがこの計画の趣旨となっている。</p> <p>2点目の各学校の点数化については、資料はあるので、公開については、検討をさせて頂く。</p> <p>3点目の計画を広く周知をしてほしいということだが、本計画については、計画書の中では、エリアを設けて学校の大枠を検討していくということだけを決めている。別添の資料として各学校の再編案を示しているが、財政上のシミュレーションをするためのプランである。そのため、今回の再編案がすべてだとは思っていない。皆さんの意見を聞きながら、地域の実情に即して適切な計画にしていきたいし、住民の皆様には十分に周知できるようにしていきたい。繰り返しになるが、保護者の皆様への説明、地域への説明は、尽くしていきたい。また、皆様のご納得のいく形でないと、進めることも難しいと考えている。しっかりと丁寧に周知をはかることを努力したい。周知の方法について、学校保護者への説明会に未就学児の保護の参加についてあったが、現段階では、決定できないが、検討し適切な方法でご案内をしたいと思う。</p>
<p>参 加 者</p>	<p>子供たちの給食のことで運動をしているのだが、学校給食を無償化にしてほしいということと、再編なども決まっていない状況であるが、給食は学校生活の中でも大切なこと。その大切なことについて、自校で行うのかということが今回の説明会の中では、触れられていない。</p> <p>もう一つ、富士見小学校や中央小学校などの新しい校舎の学校は、教室に堺がなく、20人程度の教室でという形のモデル校として富士見小等を造っていると思うが、そこに35人というのは厳しいと思う。</p> <p>給食のことと、教室に対する適正な人数について、安全安心な中で教育ができるのかということを経後の検討の中に入れてほしい。</p>

教育総務課長	<p>1 点目の給食の直営について、この計画は、施設のことなので、直営かどうかについては、また別の計画で検討する必要がある。今年度に行行政改革大綱が改正され、給食の委託については、今後検討するとしている。この計画の中での給食の話になるが、コストを出すにあたっての給食施設は、全校自校方式ができる程度の面積を見込んでいる。現在は、小学校は自校方式の配食方式、中学校については、東中学校の北側に共同調理場があり、そこからの給食の提供と各学校にサテライトキッチンをつくり、センターサテライト方式ということで行っている。小中学校の給食の在り方については、学校の再編に合わせて、調理場についても考える必要があるため、教育委員会として令和 5 年度中までに給食の配食の仕方については、検討していく方針でいる。</p>
学校教育部長	<p>バリアフリーのオープン教室については、今市内で、2 校あるが、そこから聞かれている良いところとしては、主体的で対話的で深い学びということもあり、協働的に話し合い活動をしたりしている。その時にスペースを保てて良いということや、図工や書写などの広いスペースを使うときに柔軟性が効くので良いよという意見もある。これからの時代は、一人一台の学習用端末が入り、パソコン操作などが、様々な場所で行われることになる。今までになかった教育環境を整えていく必要も出てきている。</p>
参 加 者	<p>コロナ禍で、親御さんも先生も、体と心の問題で大変な思いをしていると思う。そういう意味で、少人数学級というのは、すごく大切になってくると思う。ネットを見ていたら、群馬では今年の 4 月から 35 人学級全部でやって 1 年生は、30 人。というのを見た。そういうこともできるのだなと思った。この計画は、それとは全然違うと感じた。</p> <p>小学校、中学校が近くにあるというのは、安全安心は絶対的なものであると思うため、学校の数は減らしてほしくない。</p> <p>小規模があまり良くないということだが、小規模でも良いと思う。それなりのことができるし、細やかな教育もできると思う。だから、いけないということはないと思う。</p> <p>老朽化の問題について、急に決まったことではなく、わかっていたことであると思う。なので、学校を減らすということは、とても唐突な気がした。</p>

教育総務部長	<p>日本は、教育予算が世界から比べると少ないと聞いている。国が方向を示したらからと言って、上尾市も同じ方向を向かないで、国に対して物を申してほしいと思った。</p> <p>原市に住んでいるので、原市小と原市中が小中一貫という形になっているが、敷地が両方書いてあるが、どういう意味なのか。小中一貫は、私はよくないと思っている。小中それぞれの場所を使って小中一貫という意味が分からないので説明してほしい。</p> <p>教育委員会としては、適正規模での学校運営ということを考えている。ただ、小規模な学校についても目が行き届くなどの良い面もあるため、今後様々な方から意見を頂きながら、話を進めさせていただければと思う。</p> <p>教育の予算について、上尾市の子供たちのために、出来る限り新たな教育環境が整備できるように、今までも努力してきたが、さらに努力していきたい。</p>
教育総務課長	<p>原市小学校と原市中学校の小中一貫校について、再編案では、小中一貫一体校という形としているが、選択肢として、提示している。9年間で一体の教育課程は、小中一貫校の他、義務教育学校という形態もある。また、小中一貫教育の中には、校地が離れていながら、同じ9年間のカリキュラムを通して進めて行くという形もある。そのような校舎は、今のままで存続していくという形もある。地域の中で、どのような形の学校が良いかという議論もあると思われる。また、教育委員会としてもまだ、小中一貫教育については、決定していない。メリット・デメリットもある。先進的に取り組んでいる自治体もあるため、視察等も行いながら、良いところ、悪いところを見て研究をしていきたい。導入するかは、令和4年度中に決定していきたいと考えている。</p>
学校教育部長	<p>小中一貫教育の内容について、今も上尾市では、小中連携ということを変重要というように考えている。小学校と中学校が互いに情報交換をして、指導の一貫性を持たせるように目指しているところ、小中一貫校ということになると、小中学校が一貫した教育課程を9年間で立てるということになる。したがって、体系的な教育がより率先して、できるということになる。小学校高学年の教科担任制等も言われているが、そちらについてもより進めやす</p>

<p>参 加 者</p>	<p>くなる。</p> <p>資料の 13 ページの少人数 35 人に疑問を思っている。ちょっと多いのではと思っている。</p> <p>国の基準で、と答えているが、それはやめてもらいたい。国は、全国をみて決めいていることなので、上尾市の原市地区を見て決めいていることではない。我々は上尾市としての考えを聞きたいと思っている。</p> <p>国の基準は、補助金等の基準としていて、その補助金を使い市政を圧迫しないというのは良いと思うが、説明会においては、逃げているようにしか聞こえない。それも踏まえて、この 35 人というのは、上尾市として、少人数だと思っているのかどうか伺いたい。</p> <p>2 点目は、資料の 42 ページに長寿命化や耐震補強、建て替えのことが書いてあるが、改修が建て替えよりも経済的な場合や建物が危険である場合と書いてある。危険というのはどういうことを表わしているのか伺いたい。</p> <p>最後に、巻末資料 3 で、尾山台小と瓦葺小と原市南小が、2055 年再編成後の人数が 865 人と書いてあるが、上尾市の適正と考えるクラス数が、1 学校で 12~18 学級としているが、40 人学級として 18 学級あったとしたら、720 人なので、適正規模から大きく外れる。適正規模になっていないのだがどのように考えているのか伺いたい。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>順番が前後するが、2 点目の資料 42 ページについて、現状では、コンクリートの強さと性質変化の部分について、安全性を確認している。</p> <p>性質変化については、年数により進行するもので、建物の柱の中には、鉄筋がはいっているため、その鉄筋の部分にまで、コンクリートの性質変化が進んだ場合、鉄筋を錆びさせ易くなってしまふ。鉄筋が錆びると徐々に危ない状況になるので、それが危険である状況になる。現状では、危険な状況の建物はないが、コンクリートの性質変化が進むことで危険になる建物も出てくるため、進行を予測し、そのタイミングで、コンクリートを壊して中の鉄筋の錆の状況の確認や、耐力度調査という状況を点数化する調査があるので、それを行って危険であるということが判明した場合</p>

<p>学校教育部長</p>	<p>には、国からの補助等も活用して、建て替えや改築を行うという考えにしている。</p> <p>35 人学級については、埼玉県の教職員の配置人数が、埼玉縣市町村教職員配置基準にもとづいて行われている。この配当基準は、児童生徒数とクラス数に基づいて、表になって決められているものになっている。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>3 点目の統合により大規模になるのではないかという点について回答する。単純に 3 つの学校を統合すると資料の数値となるが、学区変更も想定しておりその中では、大規模にならずに準適正規模までに収まる想定でいる。ただし、あくまで財政上のシミュレーションとしている。瓦葺小学校の推計では、それほど減っていないという状況もあるため、地域の中で考えていきたいということで、原市地区全体をエリアとして設定している。</p>
<p>参 加 者</p>	<p>財政上の問題、子供の数が減っているなど、いろいろな問題があるということは分かった。なぜもう少し一つ一つ丁寧に考えなかったのか。まるごと委託して出てきた形なのであると思う。小中一貫校なんていきなり出てきている。小中一貫校が本当に良いものなのか、など検討されたのか。小中一貫にすると教職員が効率よく使えるとか、施設が効率よく使える等があるのかもしれないが、それではなく、子供にとって小中一貫校が良いものなのか。中一ギャップというものも聞かれたが、私は、中一ギャップというのは、必要なものではないかという思いも持っている。昔に中学校の教員をしていたが、いきなりこういうように、建物の施設整備の話と、教育に関わったようなプランが一緒になって出てくるというのは、ものすごく違和感がある。</p> <p>建て替えの予算とのかかわりで、プール等の外部委託についても、もっと上尾市の教育をどうするという立場から、丁寧に検討してほしい。最初にプランが出てくると、決まったように感じてしまう。もっともっと市の職員として、プロ意識をもって、上尾市の教育について、外部に委託して単純に出てきたものをポンと出すみたいなことはやめて頂きたい。</p>
<p>教育総務部長</p>	<p>小中一貫校については、最終的に決定は令和 4 年度中に方針を決定していくとしており、導入を決定していない。今後、様々な</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>意見を踏まえながら、皆様の意見もお聞きしながら、令和4年度中に方針を決定していきたい。</p> <p>2点目のプールについて、学校の建設において、プールをどうするかということは、避けては通れないものである。プールの授業日数は、昔は、1学期と夏休み、2学期に行っていたが、今は、1学期のみで、夏休みは、熱中症対策などでプール解放がされない状況である。稼働日数や教員によるプールの維持管理などの負担を考えるとプールの在り方については、検討していかなければならない。県内でも、志木市や隣の桶川市、北本市などもプールの民間委託の検討、実施をしているところであり、上尾市としても本年度中にプールの在り方について検討したいと考えている。</p>
<p>参 加 者</p>	<p>市政全体、上尾市全体の中で、どのように検討されたのか。</p> <p>今日ここへ来たのも良い上尾にしたいと思って皆さん集まったのだが、この計画は、6年とか8年とか10年とかのスパンで、子供たちが、学校が変わっていくのは本当に落ち着いて勉強ができることなのだろうかという、疑問がある。私は、中学校の卒業を新設校の第一回卒業生という形で出たが、新しい学校の教室に机を運んで、掃除をただけで卒業となった。息子は、原市南小学校の第一回入学生だった。原市小学校に6月までいて、6月の途中から原市南小学校へ移っていった。そういうことが、どんなに大変なことか、子供と、先生と、親への負担になる。それを考えたときにこれでは勉強どころではないのではないか、上尾の子供たちこれから大変、かわいそう、という感想を持った。</p> <p>今、五百四十何人とか、二百何十人といった児童数でやっているということが、本当に良い教育ができていない、と言えるのか。私はそう思わない。現状でとても良い教育がされている。それを引き続きどう具体化し、もっと良くしていくか、ということを私たちは考えていかなければいけないと思う。そういった上尾市全体の視点から見れば、保育所や、高齢者の施設、それから大きな災害に備えたことなども考えつつ、学校の改修で出ている問題について、上尾市全体を見て、もっと良い上尾市にするにはどうするかということを是非、是非検討をしていただきたいと思っている。</p>

教育総務部長	<p>学校については、子供たちの教育の場であるだけでなく、ご意見にあるように地域のコミュニティの場、活動の場、その他にも防災の場など、いろいろなことがあるため、教育委員会だけではなく、市全体として、今後も考えていかなければいけないというように考えている。地域説明会を今回初めて行っているが、この一回で終わりというようには考えていない。今回、再編の案を示させて頂いたが、一方的に進めたり、一回説明したからということで進めるつもりはなく、いろいろな意見を伺いながら、意見交換をさせて頂きながら、各学校での説明や未就学児世帯の方など、様々な方との意見交換をさせて頂きながら進めたいと考えているので、ご協力を頂きたい。</p>
参 加 者	<p>スクールコーディネーターをしており、日ごろ民生児童委員として子供たちとかかわっている。私立の小中一貫ということであれば、先生方は変わらないと思うが、公立の学校の先生方や教頭先生は、変わられてしまう。校長先生が変わられてしまうと方針が変わり、その下にいる先生方がどれだけ大変な思いをされているかということは何回も見させていただいている。一貫校の校長をされて、何年か後には、他の学校に行かれてしまい、先生方がどれだけ疲弊していくかということは、先生方もよくお分かりになるかと思う。小学校の先生になりたいという、なり手がいないということで、どのように計画を立てていくかということは大切なことであると思う。小中一貫を検討することも、学校が統合することも必要であると思うが、実際に先生が子供にどれだけ苦勞されて現状があるかということも踏まえて、35人という人数ではなく、上尾市ならではの人数、どんなことをすると先生が疲れなくて、子供たちが健やかに生きていけるか、将来の力を担っていけるかということを、小中一貫という考えも素敵な考えではあるけれども、現実で大変難しい、先生方が縦のつながり、横のつながりなど、連携をとって情報共有をできるかという難しさを身に染みて感じているので、ソフト面での先生方の現状で2030年がふさわしいのか。いつかしなければならないこと、の「いつか」を本当に地域の現状を踏まえて考えて頂きたい。先生の負担にならずに、子供の健康や安全を損なわずに、PTAの協力も得られるようなものを考えて頂きたい。</p>

学校教育部長	小中一貫校の在り方が、教職員の働き方の部分など、まったくご指摘の通りですので、検討をして、ご意見を伺ったうえで、慎重に考えてまいりたいと思う。
参 加 者	子供に対しての支援をしている団体や人などに対しての周知活動をもっと行ってほしい。とにかく情報を広く開示してほしい。
参 加 者	尾山台小を 2027 年の 5 年後に統合するとしているが、現在の原市南小の教室配置をみるとおそらく空きの教室がほとんどない、多目的室があるかどうか。5 年後のシミュレーションをみると尾山台小学校分で 1 学年 1 クラス増えると 6 学年で 6 クラス増えることになる。そのため、5 年後では尚早であると思う。教室の確保をどのように考えているのか。
教育総務課長	財政シミュレーションを行うに当たっては、児童生徒の人数は考慮したうえで、考えている。現状の教室で入れるという想定で考えている。
参 加 者	そうすると 5 年以内にプレハブなどを立てる想定か。
教育総務課長	既存校舎で対応可能と想定している。
参 加 者	このシミュレーションでは、原市南と尾山台を足して、6 学年で割ると 1 クラスの人数が 35 人以上となる。2030 年で計算してもわかると思うが、1 学年に 4 クラスが必要になる。現在の原市南小は、1 学年 3 クラスで、余裕がないので、明らかに 6 クラス足りなくなる。2020 年で計算しても良い。この地域は、人口減少が少ないので。 2020 年で尾山台小は、221 人、原市南小は、526 人、合計 747 人、これを 6 学年で割ると 124 人、それを 35 人で割ると、3.5 クラスになる。そうすると 3 クラスでは足りない。
事 務 局	シミュレーションでは、2030 年で行っており、その時が、原市南小が 448 人、尾山台小が 150 人、合計で 598 人。それを 6 学年で割って、35 人で割ると 2.84 ということになるため、1 学年 3 クラスとなる。1 学年 3 クラス掛ける 6 学年で 18 学級という

	<p>計算としたため、原市南小学校にある現状の校舎で、足りるという計算になっている。</p>
<p>参 加 者</p>	<p>それであれば2030年までに統合するという事なら理解できるが、5年以内に35人学級にするという国の設定ができていますので、それに矛盾するので、シミュレーションを2030年にしなければならないと思う。2027年でのシミュレーションにするか、統合を2030年以降にするかにしないと、1学年が35人以上の学級になってしまう。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>中身を精査し、地域の中でこれについては、ご意見を頂かなければならないことのため、地域の中で様々なご意見を頂きながら、検討をしていきたいと思う。</p>
<p>参 加 者</p>	<p>これは、5年後の数字で計算しないと合わないので、精査をよろしく願います。</p> <p>この地域は、尾山台小と原市南小、瓦葺小の3校を1つにすると2030年で1030人という、かなりのマンモス校になると思う。瓦葺小の児童は、431人いるのでその児童が、踏切を渡ることになる。東大宮駅があるからか、人身事故がかなり多い。人身事故が起こると20～30分、それ以上も開かないこともある。また、431人が毎日踏切を渡るとなると、そこで児童の人身事故が起きた場合は、教育委員会として責任が取れるのか。リスクが大きいのではないか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>原市地区については、地区の中ですべての学校を含めて、検討をしていきたいということで、エリアの設定をしている。そのような中で、財政シミュレーションとしての再編案を示させて頂いた。ご意見を踏まえながら、適切に進めていきたいと考えている。</p>
<p>参 加 者</p>	<p>27ページで、クラス替えのできる規模での再編と伝えているが、現在の状況でクラス編成ができない学校は、大石南小、平方北小、尾山台小の3校くらいなので、本当にクラス替えのできない3校に絞って統合するのかちゃんと考えたうえで、残りを考えるというような、段階を踏まないと一遍に11校の統合をするというのはかなり無理がある。クラス替えができるようにという案がある</p>

教育総務課長	<p>ならば、まず、3校に絞って行った方が良い。</p> <p>考え方としては、そのような考えもあると思うが、計画上 33校すべてを対象としているため、貴重なご意見として、受けさせて頂く。</p>
参 加 者	<p>54 ページについて、校長、自治会、PTA とあるのだが、学校の先生方の意見も出てくると思うが、学年主任も知らないとなると、現場の声はほとんどない。伝わってない。最低でも校長クラスの他、学年主任などを入れないと、現場の声が伝わってこないと思う。校長先生は、ある程度知っているが、他の教員は知らない。現場の意見が加味されないまま、検討協議会を行うと現場の意見が入らないものになる。</p> <p>あと学童があるが、今は、学校直営の学童とプラス NPO によって第 2、第 3 と作っている。学童の人も協議会に入れないと再編されたときに、子供はどうなるのか、となると思う。校長+学年主任、学童+NPO というのが、協議会には必須であると思う。</p>
教育総務課長	<p>貴重なご意見として、承りたいと思う。</p>
参 加 者	<p>民間に委託するのは、プールと給食と聞いたが、給食を委託するということは、今の上尾の自校給食は、子供に好評でおいしいと保護者からも好評なのだが、民間に委託すると、自校給食はなくなるというのが、現在の計画か。</p>
教育総務課長	<p>給食を民間委託することは決定していない。行政改革の中で、項目として掲げられただけ。この後検討していくことになる。</p>
参 加 者	<p>最後の質問だが、瓦葺中学校を尾山台小学校の敷地に移し、原市南小、尾山台小、瓦葺小の卒業生が通うとしているが、尾山台小は、市内の中でも敷地が小さいと思う。今の 250 人程度であれば、ちょうど良い敷地であると思うのだが、統合されたときに 500 人規模の中学生が集う施設になった時に、相当狭い窮屈な生活になるのではと思うがどうか。</p>
教育総務課長	<p>シミュレーションの案をお示ししているため、決定事項ではな</p>

<p>参 加 者</p>	<p>い。今のようなご意見があるということは承知し、地域の中でいただく、ご意見を踏まえながら検討をしていきたい。</p> <p>原市中のシミュレーションが 2020 年 569 人、2030 年 541 人、2055 年 481 人だが、2030 年から原市南が新設中学校の方に分かれる形になると思うので、新設中に人が増えるというように書き換えた方が分かりやすいと思う。</p>
<p>参 加 者</p>	<p>原市小と原市中は、小中一貫ということで、今まで原市小と原市南小で地域がつながっていたが、原市小中一貫になり原市南小学校から原市中学校へ子供が行かなくなると、地域が分断されることが見えるため、市民の中でそのような意見が出てくると思われる。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>推計については、財政上のシミュレーションとしているため、精査をして適切な形に修正をさせていただく。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>